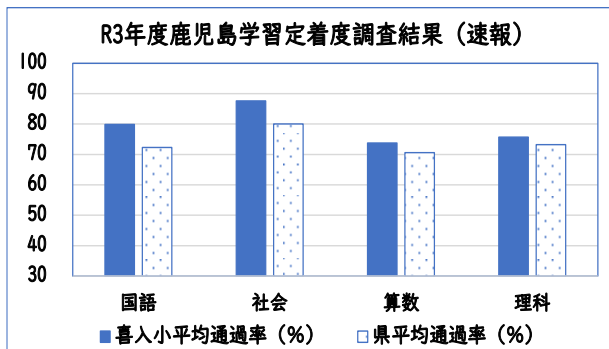


## 令和3年度鹿児島学習定着度調査結果について

令和3年度の鹿児島学習定着度調査(対象5年生)の結果速報が発表されました。本校は4教科すべてで県の平均より高い結果となりました。

「見方・考え方」を意識し、課題との出会いや多様な価値観をもった他者との関わりを大切にしながら、納得解・最適解を見つけ出すプロセスを重視した授業づくりや子どもたち、そして保護者の皆様の取組の積み重ねの成果だと考えます。今後も授業改善に努め、子どもたちの資質・能力の向上に努めてまいります。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

<教科ごとの成果と課題> ○…成果 ●…課題



国語	○説明文では、考えの中心は何か、それを支える理由・根拠はどこにあるのかを読み取る力の高まりが見られた。 ●「文章のつながり」や「資料活用」に課題があった。日記等の推敲活動を通して「文章のつながり」の課題解決を、また、新聞記事や他教科との関連充実によって「資料活用」の課題解決を図る。
社会	○育てたい見方・考え方を明確にし、「課題の発見」→「調べ学習」→「まとめ」→「確認問題」→「テスト」→「復習」→「新たな課題」のプロセスを大切に授業を行うことで、自分の考えを表現できる姿が増えた。 ●「資料活用」の視点を強化するために、国語との関連を意識した授業を展開していく。
算数	○問いを引き出し、子ども同士の学び合いの機会を生み出すことで、根拠をもちながら学びを進める姿が増え、理解の深まりにつながった。また、発展的な問題に取り組む中で、基礎・基本の定着を図ることができた。 ●子どもたちの解答に「言いたいことは分かるが不十分な表現」が見られた。見方・考え方の定着を図り、着眼点や考えを整理していく過程を意識した授業を展開していく。
理科	○タブレットを活用することで、互いが表現し合い、考えを交わす姿が増え、理解の高まりが見られた。 ●「空気の温まり方」「水の状態変化」等、目に見えない事象を取り扱った問題に課題が見られた。目に見えない事象をモデル化するとともに、モデル化した事象を言葉や実体験と結びつける過程を大切に授業を展開していく。

## 【専門の方に学ぶ貴重で幸せな機会】

本校学校医、浜田クリニック濱田 努先生を講師に招き、2月15日(火)は、認知症サポーター講座(4年生)を、2月16日(水)は、いのちの授業【がん教育】(6年生)を、オンライン形式で行いました。濱田先生には、身近な話題を交えながらお話いただき、子どもたちは、多くのことを考えていました。

### 【4年生の感想】

- 認知症は誰にでも起こる病気であり、認知症は覚えられない病気だと分かった。怒るのではなく、優しく言葉をかけた。
- 認知症は、100歳近くになれば、誰でもなるということを知って知った。認知症についてもっと知りたいと思った。

### 【6年生の感想】

- がんを早く見つけるために検診が大切だと分かった。母や父に「がん検診受けている?」と聞きたい。
- 家族や友人が苦しむいたら、まずは、反復を用いて、しっかりと話を聞こうと思った。

貴重な学びの機会を得た子どもたちでした。ありがとうございました。



感染症対策を配慮し別室からオンライン形式で実施

## 3月の主な行事(予定)

- 1日(火)教育相談日
- 2日(水)新一年生入学説明会  
(保護者1名のみ)
- 4日(金)お別れ遠足
- 15日(火)喜入中学校卒業式
- 17日(木)PTA理事会
- 17日(木)卒業式予行
- 22日(火)卒業式準備  
(1~3年給食後下校)
- 24日(木)第75回卒業式  
(5年生参加予定)
- 25日(金)修了式(給食なし)
- 28日(月)離任式
- ※B校時 3/7(月)~10(木)  
3/14(月)~17(木)



